

45  
No. 15

柳澤淇園  
宮筠圃  
伊藤以亭  
伊藤竹里  
皆川淇園  
野東泉  
澤田東江

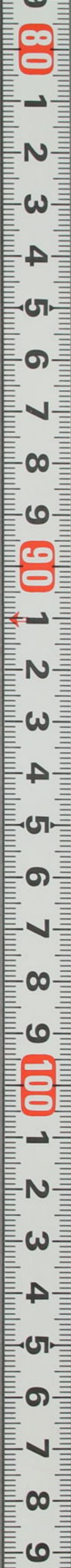
松奇觀海  
依久間東川  
千葉芸閣  
芝田汶嶺  
木村蕪葭堂  
片山蕪山

六

名家手簡

三集

下







柳澤淇園

名里恭字公義号玉桂一号竹溪稱權太夫和州郡山族能詩画其餘達諸藝

家藏

Handwritten calligraphy in cursive script (草書) enclosed in a rectangular border. The characters are highly stylized and difficult to decipher, but appear to be a signature or a short inscription.



如  
如  
如  
如  
如  
如  
如  
如  
如

如  
如  
如  
如  
如  
如  
如  
如  
如

如  
如  
如



試之少人  
里

宮筠圃

名奇字子常稱常之進尾州人住系呼  
書學趙松雪

全

口伸

雪日言或地海之變益  
以法福子有以既在者  
新言少初以重道  
今文詩書相傳百集



燭江東船隻行  
 霜月念日  
 渡邊氏馬模  
 此啓趙子昂石猶也  
 抄多事一判

伊藤介亭 名長衡字正藏仁齋三男

白  
 奉  
 一  
 十月  
 介亭



伊藤竹里

名長準字平藏仁齋四男統後久留米彦記室

全

ノチ後名中意々為りて  
少り多きを以て改名し  
之を釋義考す  
くまの字、少くも公に万般  
之を全き也

三ノ七

少くも公に万般  
之を全き也  
上野、くまの字、少くも  
之を全き也  
少くも公に万般  
之を全き也  
少くも公に万般  
之を全き也



六

一

一

一

西村

皆川節齋

名愿字伯恭一号洪園又有雙高吞海稱文藏  
京師人文化四年没七十四

全

西村節齋  
名愿字伯恭一號洪園又有雙高吞海稱文藏  
京師人文化四年没七十四



多上諸王多不御常有一  
社祀者其以七心路、如  
一而子能者以後之因  
沈陽如船者之戶後是  
乃有也 乃有王角  
婦也

古ノ事者 乃有文我  
竹居之存也  
元傳平也







上は山崎宗鑑の書

一 詩集の巻高友の抄と見  
抄本が原上と題して入る  
今の中巻の巻高友の抄と

上は山中の世

野村の書

本元三巻

百信

澤田東江

名鱗字文龍別号来禽堂萱舎青羅館称文二郎  
寛政八年没六十五

家藏

少る家白くも中一  
成生福はあまも  
生れくはるは世  
成生者少くも  
は世はあまも







厚甘きなるは  
近所の火の山に  
火の山に火の山に  
火の山に火の山に  
火の山に火の山に  
火の山に火の山に

火の山に火の山に  
火の山に火の山に  
火の山に火の山に  
火の山に火の山に

火の山に火の山に  
火の山に火の山に







也方之志中成り所  
 正也るに事なり  
 二月十日  
 加藤友成様  
 御書

千葉玄閣

名玄之字子玄稱茂右衛門東都人業儒  
 寛政四年没六十六

全

多<sup>子</sup>様  
 御書  
 御書  
 御書



若くは... 山... 物... 一...

二十... 一... 山... 物... 一...



入目者能道入口及細心  
のりかきとてたぬまに  
しゆまふとて

女月十六

厚き巻久未松子葉玄葉

芝田汶嶺

名巖字巖卿稱清八郎  
東江門人寛政十三年没

空を流るる傳ふる大に  
以安うとて自ら其の  
以流るる所持てて  
不脱るる所持てて



子印、四物、  
 詩、  
 好、

三田佳信

木村巽齋

名孔恭字世肅一号蕙葭堂稱吉右衛門後稱多吉郎  
 大坂人有好事名享和二年卒

全

木村巽齋  
 名孔恭字世肅  
 号蕙葭堂稱吉右衛門  
 後稱多吉郎  
 大坂人有好事  
 名享和二年卒



Handwritten text in a cursive script, likely Mongolian or Tibetan, consisting of several lines of characters.

Handwritten text in a cursive script, likely Mongolian or Tibetan, consisting of a single line of characters.

Handwritten text in a cursive script, likely Mongolian or Tibetan, consisting of a single line of characters.

Handwritten text in a cursive script, likely Mongolian or Tibetan, consisting of a single line of characters.

Handwritten text in a cursive script, likely Mongolian or Tibetan, consisting of a single line of characters.



片山兼山

名世璠字叔琴稱冬藏業儒  
天明二年没

全

昨日を去黄路をりて  
ふまへに不接 言像造  
至しきやうに時ありて  
まじきやうに時ありて

と兼法師の詩つとて  
郭生 乃子ハあるは及  
ふり半とては 踏胡蹄  
此點あるの<sup>併</sup>存部  
くあるは<sup>併</sup>存部  
片山法師の詩つとて



しぬ 炭の石の 不翅 とも也  
徳 若二 此の 七 此は 又 又 又  
此の 中 此の 此の 此の 此の  
百 此の 此の 此の 此の 此の  
此の 此の 此の 此の 此の 此の  
此の 此の 此の 此の 此の 此の

此の 此の 此の 此の 此の 此の  
此の 此の 此の 此の 此の 此の  
此の 此の 此の 此の 此の 此の  
此の 此の 此の 此の 此の 此の  
此の 此の 此の 此の 此の 此の

ら 月 十 八



加漱通家棧 戶山東造

名家手簡

自初集至十集

二十冊

同續集

全嗣刻

二十冊

雲上寶翰

三冊

名彥寶翰

三冊

會津山氏香雪齋摹刻

東都芝神明前

和泉屋吉兵衛謹記



